

# 昭和 58 年度 事業 計画 (案)

(自昭和 58 年 4 月 1 日・至昭和 59 年 3 月 31 日)

## 1. 会 員

種 別		正 員	准 員	学 生 員	事業維持員	合 計
項目						
57 年度末 会員数		19,844	1,485	789	521 (3,284口)	22,639
入会・復活 予定		+830	+250	+450	+13 (+26口)	+1,543
種別変更	准→正	+790	-790			0
	学→准		+450	-450		0
退会・死亡 予定		-575	-90	-25	-5 (-10 口)	-695
除 籍 予 定		-220	-10	-0		-230
増 減		+825	-190	-25	+8 (+16 口)	+618
58 年度末 会員数 (予定)		20,669	1,295	764	529 (3,300 口)	23,257

## 2. 功績者の表彰

功 績 賞	1 件
電 力 賞	2 件
電気学術振興賞	
進 歩 賞	6 件
論 文 賞	6 件
著 作 賞	1 件

年間発行部数 3,000 部 (隔月平均 500 部)

(4) 広 告

年間掲載予定 雑誌 504 ページ 論文誌 48 ページ

(5) 会 合

(i) 雑誌編集

編修企画委員会

○本委員会: 年 3 回

○分科会: 年 2 回

○幹事会: 毎月 1 回

(ii) 論文誌編集

○論文委員会 (46 名): 毎月 1 回

[その他査読委員 270 名]

(iii) 学界時報欄, ニュース欄編集

○各委員会: 毎月 1 回

(iv) 広告欄編集

○広告改善委員会: 年 4 回

(内 1 回は見学会を兼ねる)

## 3. 大 会

(1) 昭和 58 年全国大会

昭和 58 年 4 月 4 日 (月) ~ 6 日 (水): 岡山大学において開催。4 月 7 日 (木) 見学会

(別途独立会計, 現地に実行委員会設置)

(2) 昭和 58 年電気四学会連合大会

昭和 58 年 10 月 6 日 (木) ~ 8 日 (土): 日本工学院専門学校において開催

(別途独立会計, 事務担当は電子通信学会)

## 4. 学 生 会

講演会 1 回, 見学会 2 回, スポーツ大会 1 回

## 5. 雑誌・論文誌

(1) 雑 誌

年間ページ数 2,088 ページ (月平均 174 ページ)

[特集 2 回 (5 月号, 11 月号), 小特集 8~10 回]

年間発行部数 270,000 部 (月平均 22,500 部)

(2) 論文誌

年間ページ数 1,988 ページ (月平均 166 ページ)

年間発行部数 合計 279,000 部

A 分冊 63,600 部 (月平均 5,300 部)

B 分冊 137,400 部 (月平均 11,450 部)

C 分冊 78,000 部 (月平均 6,500 部)

(3) 英文論文誌

年間ページ数 192 ページ (隔月平均 32 ページ)

## 6. 電気学会将来問題検討委員会

○本委員会: 年 4 回

○第 1 分科会: 毎月 1 回

○第 2 分科会: 毎月 1 回

## 7. 出 版

(1) 技術報告発行 22 点

(2) JEC 発行 5 点

(3) 電気工学ハンドブック (重版)

(4) 刊行図書 2 点

## 8. 電気規格調査会

(1) 委員会の開催回数

○規格役員会 6 回 (うち, 1 回は地方開催)

○常置委員会 14 回

○標準特別委員会 250 回

(小委員会, 幹事会を含む)

○IEC国内委員会 60回

合計 330回

(2) 委員会の新設・解散

○新設 3委員会

○解散 3委員会

(3) 標準規格の制定・改訂 5件

## 9. 調査研究委員会

(1) 委員会の開催数

○運営委員会 4回

○技術委員会 130回

○専門委員会 750回

(小委員会, 幹事会を含む)

○研究会 156回 (うち, 地方開催は 40回)  
(60日)

合計 1,040回

注) 研究の開催回数のうち, 28回は電子通信学会との合同設置の研究会の開催回数である。

また, 本会単独で開催する研究会での発表論文数は, 1,355件を予定している。

(2) 委員会の新設・解散

○新設 43委員会

○解散 36委員会

## 10. 国際会議・シンポジウム等の開催

(1) 国際会議 イオン工学に関する国際会議

(58.9 京都)

(2) シンポジウム

○第3回センサの基礎と応用シンポジウム

(58.6 筑波)

○第16回電気絶縁材料シンポジウム

(58.9 関西)

○第13回電気絶縁材料に関する若手セミナー

(58.10 東京)

○第13回EMシンポジウム (59.3 東京)

○第5回ドライプロセスシンポジウム

(58.9 東京)

○第2性電子回路のCADシンポジウム

(58.10 東京)

注) 東京支部と共催のものや, 当会が事務を引き受けるだけのものは, 省略した。

## 11. 桜井資金による国際会議への派遣

(2~3名)

## 12. 通信教育会

(1) 通信教育事業

a. 既存の課程(大学講座5課程, 高校講座6課程)の通信教育を引続き実施する他, 新課程「自動制御」の開設を予定する。

b. 新入学者数は, 既存課程450名, 新課程50名を見込む。

c. さらに新課程「電子回路工学」・「情報処理」(いずれも仮称)開設の準備を行う。

(2) 図書出版事業

a. 引続き新刊出版企画(大学教科書新シリーズ計画)を推進するとともに, 既刊図書のうち特に陳腐化したものについての改訂を検討する。

b. 一般図書99,500部(うち新刊5,500部)の出版を計画する。高校向け検定教科書の出版は0と見込む。

c. 一般図書102,000部(うち新刊5,000部)の販売を計画する。

d. 技術図書(一般技術者向け)の出版企画を立案する。

## 13. その他

(1) 各種団体の研究助成候補者の推薦

(2) 学術団体の講演会等の共催・協賛

## 昭和 58 年度 予算 (案)

収入の部 (単位: 千円)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入	72,300	153,200	225,500
正 員 会 費	15,300	137,700	153,000
准 員 会 費	0	4,200	4,200
学 生 員 会 費	0	1,300	1,300
入 会 金	700	0	700
終身会費取らずし金	0	300	300
維 持 員 会 費	56,300	9,700	66,000
雑 誌・論 文 誌 収 入	0	72,700	72,700
頒 分 収 入	0	34,800	34,800
広 告 収 入	0	37,900	37,900
図 書 収 入	0	52,200	52,200
調 査 収 入	45,000	0	45,000
雑 収 入	800	800	1,600
利 子 収 入	24,000	0	24,000
補 助 金	1,900	0	1,900
資 金 利 子 繰 入 金	1,500	0	1,500
特 別 会 計 繰 入 金	5,200	0	5,200
特 別 積 立 金 繰 入	10,000	1,000	11,000
合 計	160,700	279,900	440,600

支出の部 (単位: 千円)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	8,250	14,650	22,900
事 務 費	10,120	17,980	28,100
人 件 費	55,230	87,970	143,200
諸 会 費	350	0	350
支 部 費	15,750	0	15,750
賞 金 費	3,800	0	3,800
電 気 規 格 調 査 会 費	12,100	0	12,100
調 査 研 究 委 員 会 費	52,900	0	52,900
連 合 調 査 会 費	700	0	700
雑 誌・論 文 誌 出 版 費	0	125,300	125,300
図 書 出 版 費	0	33,300	33,300
予 備 費	1,500	700	2,200
合 計	160,700	279,900	440,600

## 収入の部 (単位: 千円)

## 通信教育会 予算 (案)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
講 座 収 入	7,200	0	7,200
図 書 頒 布 収 入	0	154,142	154,142
受 取 利 息 等	750	250	1,000
合 計	7,950	154,392	162,342

## 支出の部 (単位: 千円)

教 務 費	4,473	0	4,473
図 書 出 版 費	0	80,065	80,065
販 売 直 接 費	0	6,038	6,038
人 事 件 費	2,220	48,238	50,458
事 務 費	236	5,139	5,375
事 務 所 費	296	6,424	6,720
調 査 宣 伝 費	270	5,900	6,170
繰 上 入 金	0	1,267	1,267
予 備 費	455	1,321	1,776
合 計	7,950	154,392	162,342